

令和3年度

事業計画書
収支予算書

目 次

第1表 事業計画

1 事業計画書.....	1
--------------	---

第2表 収支予算

1 収支予算書.....	20
2 収支予算書内訳表.....	22
3 資金調達及び設備投資の見込みについて.....	24

〔参 考〕

1 収支予算書（収支ベース）	25
----------------------	----

第1表 事業計画

事業計画書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

【基本方針】

広島観光コンベンションビューローは、グローバルMICE都市にふさわしいMICEの振興及びインバウンドを中心とする観光の振興に係る施策をより積極的かつ機動的に推進することとしている。

こうした中、本市を訪れる外国人観光客は、2019年には過去最高の184万7千人を記録し8年連続の増加となり、インバウンドの隆盛が観光業界をはじめとした地域経済の活性化に大いに寄与してきた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、インバウンド需要やMICE開催が激減したうえに、国内観光客も大幅に減少したことから、観光業界はこれまで経験したことのない厳しい状況に陥っている。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況については予測が困難であり、インバウンドの回復についても相当な時間を要することも想定されることから、引き続き、新型コロナウイルス感染症と共存する環境のもとで、新しい生活様式に対応した事業展開を行う必要がある。

こうしたことを念頭に置き、令和3年度においては、国内外の感染状況やインバウンドの状況を注視しながら、国内観光やMICE需要に迅速かつ的確に対応するとともに、本格的なインバウンドやMICEの回復に備えた取組を積極的に推進するほか、安全・安心で、魅力的な地域の情報を、あらゆる機会を通してデジタル技術など様々な手法を活用して発信していく。

なお、事業の推進に当たっては、広島県、広島市及び広島広域都市圏の市町、並びに広島商工会議所をはじめとする経済関係団体・企業及び大学等との緊密な連携を図りながら、地域経済の活性化並びに国際相互理解の増進等に寄与する効果的な事業展開を図っていく。

また、組織を一体化して機能の充実強化を図るとともに、広島県観光連盟や広島商工会議所等関係機関との連携強化を一層推進するため、企画総務部とMICE推進部を広島商工会議所ビルに移転する。

【重点事業】

I MICE振興関係

広島ならではの魅力を生かしたMICE誘致を実現し、MICEにおける広島の存在感を確立するため、国際会議及び大規模な国内会議をメインターゲットに設定し、積極的に誘致・支援事業に取り組んできている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、MICEを取り巻く環境が大きく変化し、オンライン化など新たな会議スタイルも生まれている中、本格的なMICEの再開に向けて、セールスプロモーションの強化や誘致・開催を支援するプログラムの充実・強化に取り組む。

1 セールス・プロモーションの強化

(1) マーケティング機能の強化

国際会議協会（以下「ICCA」という。）等から質の高い情報の収集を行い、顧客管理システムを活用し、効率的なセールス活動を行う。また、ホームページの充実に努め、世界に向けた情報発信を行う。

(2) 個別誘致セールスの強化

MICEプランナーズガイド等の誘致ツールを活用し、効率的なセールス活動を行い、新規顧客の掘り起こしに取り組む。

(3) MICE専門見本市への出展

IMEXフランクフルト、IMEX米国、AIMEメルボルン、国際MICEエキスポ（東京）などのMICE専門見本市に継続して参加し、国際会議や経済効果の高いインセンティブ旅行の誘致促進を図る。

2 誘致・開催を支援するプログラムの充実・強化

(1) テクニカルビジットの開発・運用

産業界との連携強化を図るとともに、MICEの開催をビジネス交流やイノベーションの機会創出に繋げるため、MICE参加者と産業界などとの交流プログラムの開発・運用を行う。

(2) ユニークベニユーの開発・運用

広島市の「ユニークベニユー等利用促進協議会」に参画し、歴史的建造物や文化施設等での会議の開催など、特別感や地域特性を演出するユニークベニユーの開発・運用を行う。

(3) 大規模会議への支援

レセプション等における伝統芸能の提供、シャトルバスの提供、歓迎用看板の掲出など、広島で開催して良かったと喜んでもらえるような支援に取り組む。

II 観光振興関係

「人とのふれあいがもたらす思い出づくりで、世界中に広島ファンをつくる」という目標を掲げ、観光客の誘致や受入態勢の充実強化に取り組んできている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により深刻な影響を受けた観光業界の復興を支援し地域経済の活性化を図るためにも、当面の観光需要の回復を担う国内観光の需要に迅速かつ的確に対応しつつ、本格的なインバウンドの回復に備えた受入態勢の充実・強化や国内外の感染状況等を見極めた上での観光客誘致に積極的に取り組む。

事業の推進に当たっては、

- ① 平和を深く、広域都市圏（25市町）に広く
- ② 人とのつながりによるきずなづくり
- ③ 現場に入って、掘り起こし、育てる

という3つの視点を踏まえ、企画・実践することとする。

1 受入態勢の充実・強化

(1) 新たな観光プロダクトの開発

「観光客受入ビジネスフェア」等を通じて、観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家を掘り起こし、実践の場の提供とフィードバック等を通じて事業者の成熟段階に応じた各種支援を行い、より魅力あるプロダクト開発を推進する。

(2) 街のにぎわいづくり

「ひろしまフラワーフェスティバル」等の祭りやイベントの実施において、コロナ禍の中で開催する安全・安心に配慮した新たな取り組みを進め、街のにぎわいづくりを創出する。

2 観光客の多様なニーズに対応した「旅の提案」など案内機能の充実・強化

(1) 「旅の提案」機能の活用

広島広域観光情報サイト「ひろたび」に導入した「旅の提案」機能を活用し、観光客の利便性を高め、観光施設の利用促進及び広域周遊の促進を図ることにより、滞在時間の延長と消費拡大を図る。

(2) 広島市観光案内所の総合的な運営支援

広島市が設置する全ての観光案内所（5か所）で、観光情報を共有するとともに、「ひろたび」の「旅の提案」機能を活用して観光客のニーズに沿った広域的な観光情報の提供ができるよう指導・助言するなど、総合的な運営支援を行う。

(3) 広島広域都市圏内の観光案内所等との連携強化

広島広域都市圏内の観光案内所間での観光情報の共有などを行うことにより、観光客の利便性の向上や相互送客を図り、観光客に満足と安心を与える環境を整備するとともに、広域都市圏内での周遊を促進する。

3 MICE推進事業やフィルム・コミッション事業等、ビューローが持つ強み・独自性を活かしたプロモーションの展開

(1) MICE推進事業によるプロモーション

MICE誘致・支援事業等の実施における都市紹介やポストコンベンションメニューの提案等を通じて、広島の観光都市としての魅力をPRする。

(2) フィルム・コミッション事業によるプロモーション

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を積極的に行い、広島発の映像情報の発信等により、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進する。

(3) SNS発信による観光客誘致

観光客に対し、旅マエでは旅行先として広島への関心を向上させ、旅ナカでは広島広域都市圏内の周遊を促すなど、場面に応じた魅力ある情報発信を行う。

また、受入態勢整備等による顧客満足度の向上により、旅アトにおける観光客自らのSNS発信・拡散を図る。

【公益目的事業】

I MICE振興事業

1 情報収集事業

180万3千円

(1) MICE関連機関からの情報収集

87万9千円

一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー（以下「JCCB」という。）の開催意向調査結果、約5,400件のデータを活用し、効率的に誘致活動を行う。

また、国際会議やイベントを主催する約100か国1,100団体が加盟する世界最大のコンベンション関係組織であるICCA、JCCB、独立行政法人国際観光振興機構（以下「JNTO」という。）及び一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）、また新たにインセンティブ旅行誘致に関連するMICE専門家が多く加入しているMPI (meeting professionals international)の会員となり、国際会議はもとよりインセンティブ旅行を含むMICE誘致のため、有益な情報収集を行う。

(2) 顧客管理システムの運用

92万4千円

コンベンション調査やMICE関連機関等から収集した情報を蓄積する顧客管理システムを更新するとともに、これまで蓄積してきた学会等のデータを分析するなどして、効率的に誘致・支援活動を行う。

2 MICEの誘致・支援事業

4,858万3千円

(1) 誘致活動の実施

1,366万8千円

ア グローバルMICE強化事業

472万5千円

グローバルMICE都市として、MICE主催者に対する支援を行うとともに、MICE開催地としての広島を広く訴求し、MICEブランドの浸透を図り、MICEの誘致を推進する。

(イ) ロビー活動支援事業

国際会議の開催地を決定する理事会等の場に職員を派遣し、会議主催者とともにロビー活動を実施する。

(ロ) テクニカルビジットのモデル事業の実施

広島で開催されるMICEの参加者を対象に、地元企業などの産業技術や研究の実地視察及び受入企業との交流を行うテクニカルビジットのモデル事業を実施する。

- ・企業の調査及びテーマの設定
- ・産業技術見学・ビジネス交流プログラムの造成



テクニカルビジット (2019)

- (ウ) 福岡市及び北九州市のMICE推進機関との共同事業の実施(オンライン参加)

「AIME 2022 メルボルン」への
共同出展

- ・開催時期 令和4年3月 (予定)
- ・場 所 オーストラリア メルボルン
- ・関係者数 バイヤー 約320人
出展者 約340団体



AIMEの商談(2019)

- (エ) シャトルバス等の運行助成

国際会議等の開催時に会場間又は会場と交通拠点間のシャトルバス等の運行助成を行うことにより、会議運営の効率性を確保する。

- (オ) 誘致ツールの作成

- ・プランナーズガイドの改訂・増刷 300部

- (カ) グローバルMICE都市・都市力強化対策本部への職員派遣

グローバルMICE都市12都市及びMICE推進機関等で構成する「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部」に参加し、情報交換を行う。

イ 個別誘致活動の実施

531万5千円

国内のMICE主催団体等に対し、誘致活動を行う。

- (ア) 首都圏等での活動

主として、首都圏に本部を置く団体、学術会議本部、企業等に誘致活動を展開する。

- (イ) 広島県内での活動

県内の大学及び各教育機関、各種企業・団体等に対し、誘致活動を展開する。

ウ 海外MICE専門見本市における誘致活動

193万円

海外で開催される主要なMICE専門見本市に出展(オンライン参加)し、MICE主催者等に宣伝・誘致活動を行う。

- (ア) 「IMEX 2021」への出展

- ・開催時期 令和3年5月25日(火)
～27日(木) (予定)
- ・場 所 ドイツ フランクフルト
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー※
約4,000人
出展者 約3,500団体



IMEXの商談(2019)

※ ホステッド・バイヤー : トレードショーに招待された優良なMICE主催者

(イ) 「IMEX America 2021」への出展

- ・開催時期 令和3年11月9日(火)
～11日(木) (予定)
- ・場 所 アメリカ ラスベガス
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー
約3,300人
出展者 約3,500団体



IMEX Americaの商談(2019)

(ウ) 「AIME 2022 メルボルン」への出展【再掲】

- ・開催時期 令和4年3月(予定)
- ・場 所 オーストラリア メルボルン
- ・関係者数 バイヤー 約320人
出展者 約340団体

※ 事業費は「ア グローバルMICE強化事業」に含む。

エ 国際MICEエキスポ (IME 2022) への出展 68万5千円

国内唯一のMICE総合見本市・トレードショーである国際MICEエキスポに出展し、MICE開催の決定権を有するキーパーソンなどに対して、広島での開催を働きかける。

- ・開催時期 令和4年2月(予定)
- ・場 所 東京都内
- ・主 催 JNTO及びJCCB
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー 約20名
出展者数 約80団体

【目 標】 商談件数 20件

オ キーパーソンの視察受入 25万4千円

MICE開催の意向を有するキーパーソン等の視察受入を行い、MICE施設・観光資源・受入態勢等、広島の魅力を紹介・案内することにより、広島での開催を働きかける。

- ・受入者数 年間3人程度

カ 広島産学公連携MICE推進協議会の運営 10万円

「広島産学公連携MICE推進協議会」及び当該協議会内に設置する「インセンティブ部会」を運営し、広島におけるMICE誘致を推進する。

【広島産学公MICE推進協議会】

- ・開催回数 2回

【インセンティブ部会】

- ・開催回数 3回

キ 中国・四国地区コンベンション推進協議会への参画

65万9千円

中国・四国地区のコンベンション推進機関等14団体で構成する中国・四国地区コンベンション推進協議会において、コンベンション等に関する情報の収集・交換及びコンベンション等の推進に関する調整や研究を行う。また、中国・四国地区コンベンション誘致懇談会に出展し、MICE主催者等に宣伝・誘致活動を行う。

(ア) 総会への参加

- ・開催時期 令和3年7月(予定)
- ・場 所 岡山市内

(イ) コンベンション誘致懇談会への出展

- ・開催時期 令和3年12月2日(予定)
- ・場 所 東京都内

【目 標】 商談件数 25件



コンベンション誘致懇談会(2019)

(2) 支援活動の実施

3,491万5千円

ア コンベンション誘致助成事業

2,990万円

コンベンション主催者に対し開催経費の一部を助成することにより、広島での開催を促進する。

【助成制度の概要】

区 分	参加者数	参加国数	開催期間	助成限度額
国際会議	100人以上200人未満	3か国以上	2日間以上	30万円
	200人以上	3か国以上	2日間以上	60万円
	300人以上	5か国以上	3日間以上	300万円
国内会議	全国的なもので1,000人以上又は延べ2,500人以上	-	-	300万円

イ コンベンション開催準備資金貸付事業

501万2千円(※)

コンベンション主催者に対し、開催に必要な準備資金の貸付を行うことにより、広島での開催を促進する。

- ・貸付限度額 国際会議 300万円
- 国内会議 200万円

※ うち500万円は、広島市からの借入金であるため支援活動の実施に係る事業費には含めていない。

ウ 大規模会議等への支援

500万3千円

大規模会議等に対して、広島観光親善大使や外国語ボランティアガイドの派遣、伝統芸能等の提供、歓迎用看板等の掲出及び記念品等の提供を行い、参加者に対し歓迎の意を表す。

また、コロナ禍において、会議主催者へ感染拡大防止のための規制等関連情報の発信や検温装置の貸出し、会議参加者へのロゴマーク付きマスクの配布を行う。

(ア) 広島観光親善大使の派遣
開会式等での式典補助及び広島のプロモーション等の実施

(イ) 外国語ボランティアガイドの派遣
国際会議での観光情報の提供

(ウ) レセプション等における伝統芸能等の提供
会議及びインセンティブ旅行参加者をもてなすことを目的とした、神楽等の伝統芸能等の提供

(エ) 歓迎用看板等の掲出

- ・掲出場所 JR広島駅及び広島空港
- ・掲出対象 国際会議及び大規模国内会議

(オ) 記念品等の提供

- ・コンGRESバッグ（ビニール製 35,000枚）
- ・グルメ&ナイトガイド（55,000部）

(カ) コロナ禍での会議開催支援

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための規制等関連情報の発信
- ・検温装置の貸出し及びロゴマーク付きマスクの配布



広島観光親善大使による広島のプロモーション



レセプションにおける神楽の公演

3 広報・宣伝事業

463万4千円

(1) 機関紙「ひろしま観光コンベンション」の発行

170万7千円

コンベンションの開催やポストコンベンション情報、観光情報、ビューローの活動状況等を掲載した機関紙「ひろしま観光コンベンション」を発行し、コンベンション主催者等への情報提供を行う。

- ・発行回数 年4回
- ・発行部数 1回当たり7,200部

(2) ホームページの運用

292万7千円

ア MICE施設情報及び誘致支援内容等に関する情報の提供

イ コンベンションカレンダーの更新

広島で開催予定の会議等をまとめたカレンダーを毎月更新し、ホームページ上で公開する。

4 調査・企画事業

66万円

(1) 経済波及効果調査の実施

4万円

コンベンション主催者及び参加者に対し支出に関するアンケート調査を行い、コンベンション開催に伴う経済波及効果を算出する。

(2) 観光・コンベンションセミナーの開催

62万円

コンベンション・観光関連団体、企業を対象としたセミナーを、広島商工会議所と共催で開催し、観光及びコンベンションに関する知識・ノウハウの習得、接遇能力の向上を図る。

・開催時期 令和4年2月予定



セミナー（2021）

II 観光振興事業

1 観光客の受入態勢整備事業

351万1千円

(1) 観光客受入ビジネスフェアの開催

317万7千円

観光客の受け入れを強化しようとする企業・店舗や観光振興に携わる企業・団体、官公庁等を広範につなぐ「観光客受入ビジネスフェア」を開催し、観光客受入態勢の向上を図る。

※「インバウンド受入ビジネスフェア」から改称

- ・開催時期 令和4年2月（2日間）
- ・会場 広島国際会議場
- ・事業内容 展示商談会（出展小間数40小間）、講演会



展示商談会(2019)



講演会(2019)

(2) 食の多様化に対応できる飲食店の増強

27万4千円

国内でも需要が伸びているベジタリアン食への対応を促進するセミナーの開催などにより、観光客の多様化する食のニーズに対応できる飲食店の増加を図る。

(3) インバウンド事業道場の開催

6万円

観光事業者のインバウンド事業への取組を強化するため、人的交流ができる場を提供し、事業者間での最新情報の共有や新たなビジネスの創造を促進する。

- ・回数 セミナー・情報交換会 年3回
オンライン交流会 年10回

2 観光資源整備・開発事業

282万1千円

(1) 広島市観光振興ネットワーク会議の運営

1万4千円

広島市の観光振興に関して、観光関係者が連携して振興策を協議し、活力のある広島経済の創造に資する。

(2) 広島湾ナイトクルージングの実施

60万円

船舶事業者等で構成する実行委員会の事務局として、広島湾一帯を新たな観光ゾーンとして定着させるため、「広島湾ナイトクルージング」（6航路）を実施する。

- ・実施期間 令和3年7月17日（土）～
9月30日（木）（76日間）



(3) 観光プロダクトの開発

220万7千円

広島を訪れる観光客の満足度を上げ周遊促進や滞在時間の延長を図るため、観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家に対し、観光プロダクト開発の計画作成や試行・マーケティング調査、周知・広報等の支援を行う。

ア 事業計画作成への支援

観光プロダクトの事業化に必要となるターゲット設定、商品化計画、広報PR計画など具体的な事業設定を検討した事業計画を作成するにあたり、職員による相談、助言を行うとともに、関係機関や関連事業者間の紹介、公的な施策・制度や公募案件などの情報提供を行う。

イ オンライン体験・オンラインツアーの商品化支援

オンライン体験・オンラインツアーの販売を目指す事業者に対し、企画段階から助言を行い、外部講師や関係者を交えて一緒に試行し、実施内容の振り返りや改善を繰り返すことによって商品化を支援する。

【実施内容】

- ・企画案への助言
- ・観光客を想定した実践
- ・外部講師による助言
- ・販売手法への助言

【参考】

※オンライン体験・オンラインツアーとは

対面ではなく、オンラインで実施される体験やガイドツアー。

オンライン会議システムにより実施することが多く、質疑応答など主催者と参加者の間でリアルタイムでの意思疎通が行える。事前に食材や材料を用意して行う調理・ものづくりの講座や、観光地などの現地から中継しながら行うガイドツアーなどがある。

潜在的顧客に向けたプロモーションとなり、将来の来広が期待されるとともに、体験やガイドツアーに関わる特産品の購買促進にも繋がる。



オンラインツアー (2020)



オンライン体験 (2020)

ウ トラベルDXソリューション展(仮称)への共同出展

商品化された観光プロダクトについて、販路を拡大し新規の顧客開拓に結びつけるため、国内で開催される旅行関係の見本市に観光プロダクト事業者と共同出展を行う。



- ・開催時期 令和3年11月
- ・開催場所 大阪（「ツーリズムEXPOジャパン」内での開催）

エ 情報発信の強化

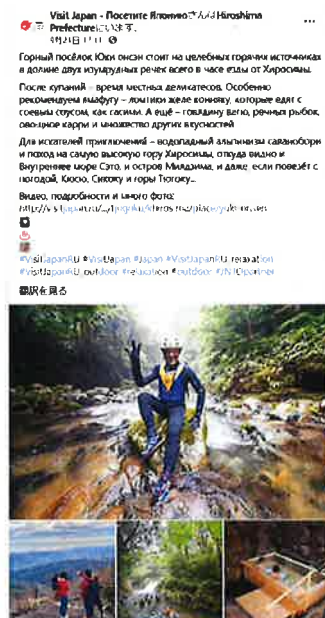
コロナ禍にあっても衰えていない訪日意欲に応え、潜在的な来広需要を引き出すため、外国人観光客に向けた観光プロダクトの情報発信を強化する。

(ア) JNTOを通じた海外への情報発信

JNTO海外事務所を通じて、海外の旅行会社や観光客に向けた情報発信を英語他多言語で行う。



香港事務所 Facebook



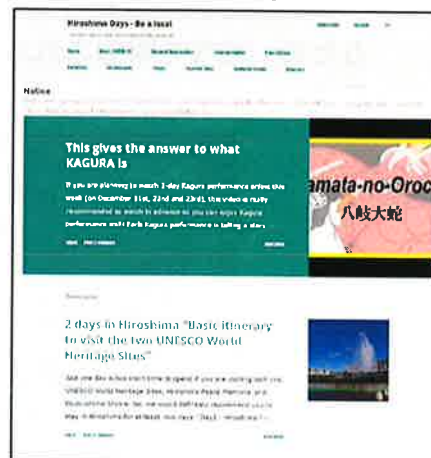
モスクワ事務所 Facebook

(イ) 外国人観光客向けフリーペーパー「Hiroshima Days - Be a local」の発行

- ・ 言 語 英語
- ・ 発行回数 年 2 4 回
- ・ 発行部数 1, 0 0 0 部／回
- ・ 配 付 先 観光案内所、宿泊施設、飲食店、商業施設など
- ・ 掲載内容 体験型観光プロダクトやイベントスケジュール、飲食店情報など
- ・ そ の 他 掲載した情報は令和 2 年度に開設したオンライン版でも同時発信し、継続的に観光プロダクトの認知向上を図る。



実施のイメージ



オンライン版

3 観光宣伝・誘致活動推進事業

1, 0 6 1 万円

(1) 観光客誘致プロモーション活動

1 2 9 万 2 千 円

ア 国内観光客への宣伝・誘致活動

事 業 名	時 期	場 所
ツーリズムEXPOジャパンへの参加	令和 3 年 1 1 月	大 阪
宮島・広島・岩国・呉・廿日市共催首都圏観光宣伝隊への参加	令和 3 年 1 2 月	東 京

イ 外国人観光客への宣伝・誘致活動

VISIT JAPAN トラベルマートを始めとする各種インバウンドフォーラムや各種情報交換会に参加し、セールス活動及び情報発信等を行うことにより、広島への外国人観光客誘致の一層の推進を図る。

また、JNTOのロサンゼルス、シドニー、パリなど 22 の海外事務所を情報拠点として活用し、現地の旅行会社や一般消費者へ広島の PR を行うとともに、マーケット情報の収集を行う。

事業名	時期	場所
VISIT JAPAN トラベルマートへの参加	令和3年11月	大阪
JNTOインバウンド振興フォーラムへの参加	未定	東京
中国地方インバウンドフォーラムへの参加	未定	岡山



「ツーリズムEXPOジャパン2019」
ひろしま・せとうちブース



首都圏観光宣伝隊による街頭宣伝
(JR品川駅) (2019)



VISIT JAPAN トラベルマート2019での商談

ウ SNSによる情報発信

Twitter、Facebook及びInstagramを活用し、国内外へ最新情報を始めとする様々な情報を発信することにより、広島への観光客誘致を推進する。

(2) 地域観光の推進

50万4千円

観光情報を発信する祭り・イベント等を支援し、地域観光の推進を図る。

ア 第33回湯の山温泉桜まつり

・開催時期 令和3年4月初旬

イ 第30回湯来温泉ホテルまつり

・開催時期 令和3年6月下旬

(3) 観光宣伝物作成

596万6千円

発地型パンフレット「きんさい ひろしま」及び着地型パンフレット「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」を作成し、JNTOの海外事務所(22か所、年3回提供)、市内外の観光案内所、宿泊施設、商業施設などに配布することで、広島への観光客誘致を推進する。

パンフレットの名称	言語
きんさい ひろしま	日本語、英語
ようこそ！広島へ観光ガイドマップ	日本語、英語、中国語（簡体字版・繁体字版）、ハングル等（全10言語11表記対応）



きんさい ひろしま



ようこそ！広島へ観光ガイドマップ

(4) 親善交流

73万8千円

観光親善大使を含む訪問団を結成して広島市と相互交流のある都市を訪れ、行政・メディア・観光協会等関係機関への観光PRを実施することで、都市間の親善交流を図る。

事業名	時期	場所
第33回浜田市親善訪問	令和3年8月	浜田市
第40回沖縄親善訪問	令和3年8月	沖縄市
第41回北広島市親善訪問	令和3年9月	北広島市



浜田市“石州浜っ子夏まつり”
で観光PR（2019）



“沖縄全島エイサーまつり”
で観光PR（2019）



上野北広島市長を表敬訪問（2019）

(5) 観光親善大使による観光宣伝活動

211万円

広島市の代表にふさわしい意欲あふれる観光親善大使を選考し、観光関連事業において観光PRを行うとともに広島観光親善大使ブログ等SNSによる情報発信を行い、広島への観光客誘致を推進する。

- ・ 名 称 広島観光親善大使
- ・ 人 数 3人
- ・ 交代時期 令和3年11月
(任期1年間)



広島観光親善大使（2020）



大使ブログ



大使フェイスブック



(1) 観光案内所の運営

1, 412万4千円

ア 紙屋町地下街（シャレオ）内観光案内所の運営

- ・運営時間 11:00～17:00（年中無休）

※当観光案内所は、J N T O認定外国人観光案内所のカテゴリー2（少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供）となっている。

イ 広島市観光案内所の総合的な運営支援

広島市が設置する全ての観光案内所（5か所）の機能向上と連携促進を図るため、総合的な運営支援を行う。

- ・広島市観光案内所間の情報共有による案内サービスのレベルの向上
- ・広島市観光案内所における「旅の提案」機能を活用した案内サービスの提供

※広島市観光案内所：広島駅総合案内所、バスセンター総合案内所、

広島港総合案内所、平和記念公園レストハウス観光案内所、

紙屋町地下街（シャレオ）内観光案内所

ウ 広島広域都市圏内の観光案内所等との連携強化

コミュニケーションツール“Slack”を活用し、タイムリーな観光情報の共有などを行うことにより、観光客の利便性の向上や相互送客を図り、観光客に満足と安心を与える環境を整備するとともに、広域都市圏内での周遊を促進する。

(2) 来広観光客等動向調査

11万9千円

来広観光客の質的構成や動態をアンケート等により調査するとともに、広島市の観光情報に係る観光概況データを収集し、広島への観光客誘致の推進に活用する。

ア 来広観光客アンケート調査

- ・実施回数 年4回
- ・調査予定数 約1,000人

イ 入込観光客調査

広島市内の宿泊・観光施設及び交通機関等を対象に利用状況調査を行う。

- ・調査予定数 約300施設・機関

(3) ひろしまライトアップ事業の運営その他

3, 038万2千円

「広島祭委員会」、「ひろしまライトアップ事業実行委員会」の事務局分室を設置し、下記の事業を開催することにより、広島への観光客誘致を推進する。

事業名		時期
祭委員会	2021ひろしまフラワーフェスティバル	5月3日～5日
	七夕まつり	7月1日～10日
	広島ドリーム花火2021	7月・8月
	ピースメッセージとうろう流し	8月6日
	広島城大菊花展	10月23日～11月7日
ひろしまドリミネーション2021		11月17日～1月3日



ひろしまフラワーフェスティバル



ピースメッセージとうろう流し



広島城大菊花展



ひろしまドリミネーション

(4) ホームページの運営

1, 806万円

広島広域観光情報サイト「ひろたび」及び外国人観光客向けの「Explore Hiroshima」（英語版、中国語版（簡体字版・繁体字版）、ハングル語版、フランス語版、ドイツ語版、タイ語版）を運営するとともに、SNS（日本語・英語）を活用した国内外への最新情報の発信により、広島への観光客誘致を推進する。

また、サイトに導入した「旅の提案」機能を活用し、観光客の利便性を高め、観光施設の利用促進及び広域周遊の促進を図ることにより、滞在時間の延長と消費拡大を図る。

(5) フィルム・コミッション事業の運営

1, 828万8千円

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を行い、広島発の映像情報の発信などにより、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進する。

ア ロケ撮影の誘致

区分	事業名	時期	場所
映像関連イベント	ジャパン・コンテンツ・ショーケース(東京国際映画祭関連)への参加	令和3年11月	東京
	広島国際映画祭の参加映像制作者への誘致活動	令和3年11月	広島
	ジャパン・フィルムコミッション(JFC)全国ロケ地フェアへの出展	令和4年1月	東京
映像制作者訪問等による誘致活動		随時	東京ほか



ジャパン・コンテンツ・ショーケース(2019)



広島国際映画祭(2020)

また、ロケ撮影誘致を効果的に行うためのコンテンツとしてロケ地紹介映像を制作・公開し、コロナ禍等により来広できない映像制作者へ広島のロケ撮影地をPRする。

イ ロケ撮影の支援

ロケ地情報の提供、施設の使用調整・許可申請手続、ボランティア・エキストラの募集、ロケハン同行・ロケ撮影立会等を行い、ロケ撮影を支援する。



ロケ支援映画「孤狼の血 LEVEL2」の撮影風景

ウ ロケ撮影支援作品を活用したプロモーション活動・ロケ撮影環境の整備

市民に対しロケ撮影に関する講演会やパネル展の開催及びメールマガジンによる情報発信並びにロケ地マップ作製やロケ地巡りの実施等のプロモーション活動を行う。

また、こうした活動を通じてフィルム・コミッション事業に対する理解・協力を促すとともに、関係支援団体との連携を図り、ロケ撮影のしやすい環境づくりを行う。

エ 映像コンテンツ販売の支援

広島を題材に撮影された映像コンテンツの販売促進を支援する。

オ フィルム・コミッション間の連携

国際フィルムコミSSIONナース協会(AFCI)、アジア・フィルムコミMISSION・ネットワーク(AFCNet)、ジャパン・フィルムコミMISSION(JFC)、フィルム・コミMISSION中国ブロック会議に参加することなどにより、意見交換や情報収集に努める。

また、近隣地域のフィルム・コミMISSIONや自治体等と連携したロケ撮影誘致やロケ撮影支援等を行う。

【参考】

1 広島フィルム・コミッション(FC)の誘致活動の特色

映画監督、プロデューサー等の映像制作者が一堂に集う国内外のトレードショーや映画祭を面談の機会ととらえ、映像制作者のアポイントを取って個別にロケ撮影誘致活動を行っている。このスタイルで作られた映像制作者との新たなコネクションを活かして、さらに面談の機会を増やしていく広島FC独自の誘致戦略により、これまで数々のロケ誘致の実績を上げてきた。

また、映像制作者とのコネクションをいかして広島に関心を持ってもらい、ロケハン〜ロケ撮影〜作品完成を経て、毎年秋に広島で開催される「広島国際映画祭」での上映で、地元広島に作品を披露するサイクルが確立されていることが広島FCの強みになっている。

2 各映像関連イベントの内容

(1) ジャパン・コンテンツ・ショーケース（東京国際映画祭関連）

国内最大の映画祭の関連イベントであり、国内外から多数の映像制作関係者が来場している。

(2) 広島国際映画祭

ロケ撮影支援をした作品を披露できる場として、また、ロケ撮影して欲しい監督を招聘できる場として、広島FCのロケ誘致戦略上重要な役割を果たしている。

(3) JFC全国ロケ地フェア

多くの国内FCが加入しているジャパン・フィルムコミッションが主催する全国のロケ地を紹介するイベントである。

3 フィルム・コミッション事業の効果

(1) 直接的経済効果・・・ロケ撮影時の宿泊費、車両代、交通費等の消費

令和元年度の広島FC支援作品ロケ撮影消費額計約6,000万円〈主な事例：映画「朝が来る」760万円(ロケ10日、スタッフ45名)、映画「お母さんの被爆ピアノ」270万円(ロケ6日、スタッフ25名)、CM「大手ハウスメーカー」400万円(ロケ5日、スタッフ27名)〉

(2) 間接的経済効果・・・来広観光客の増加

令和元年度広島市来訪観光客アンケートの来広動機「広島を題材・ロケ地とした映画・テレビを見て」(5.00%)及び「新聞、雑誌、テレビ・ラジオで知った」(2.78%)

(6) 観光宣伝物作成

262万円

街角観光案内所「トラベルパル」及び「トラベルパル・インターナショナル」などで配布する観光パンフレットを作成する。

- ・名称 ようこそ！広島へ観光ガイドマップ
- ・対応言語 日本語、英語、中国語（簡体字版・繁体字版）、ハングル等（全10言語11表記対応）

【その他】

I その他事業

1,051万2千円

1 賛助会員向け事業

159万9千円

(1) 会報の発行

29万8千円

国際会議等の誘致・開催支援状況や、各種観光事業等を掲載した会報「Monthly News」を発行し、賛助会員等へ情報提供を行う。

- ・発行回数 年12回
- ・発行部数 1回当たり約500部

(2) 優良従業員表彰及び賛助会員交流会の実施

130万1千円

賛助会員の企業・団体に勤務する優秀な従業員を表彰し、観光事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図る。また、併せて賛助会員交流会を開催し、賛助会員同士の交流を深める。

- ・開催時期 令和4年2月



2 職員の研修事業

112万円

JNTOやJCCB等が主催する実務担当職員を対象とした研修会等に職員を参加させ、コンベンション誘致や開催ノウハウを習得する。

主な研修会	時 期	場所（予定）
MICEセミナー（初任者対象）	令和3年 5月	東京都
MICEセミナー（上級者対象）	令和4年 1月	東京都
JCCB人材育成セミナー（実務者対象）	令和3年12月	東京都

3 観光資源の維持管理

779万3千円

観光ライトアップ設備(15か所)、観光サイン(635基)及び「灯和の径」(57灯)等を維持管理する。

【法人会計】

主たる事務所の移転

1,192万8千円

組織を一体化して事務局機能を充実強化するとともに、広島県観光連盟や広島商工会議所等関係機関との連携強化を図るため、企画総務部及びMICE推進部の事務所を、広島国際会議場から広島商工会議所ビルに移転する。（令和3年8月予定）

第2表 収支予算

1 収支予算書

収 支 予 算 書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	12,964	16,124	△ 3,160
② 受取会費			
賛助会費受取会費	11,360	11,675	△ 315
③ 事業収益	95,110	99,330	△ 4,220
広告事業収益	3,180	4,032	△ 852
観光親善大使派遣事業収益	544	517	27
広島市受託収益	91,386	94,781	△ 3,395
④ 受取負担金			
受取負担金	2,650	3,180	△ 530
⑤ 受取補助金等			
受取広島市補助金	247,864	245,370	2,494
⑥ 雑収益			
雑収益	0	100	△ 100
経常収益計	369,948	375,779	△ 5,831
(2) 経常費用			
① 事業費	318,519	329,023	△ 10,504
役員報酬	8,091	8,083	8
給料手当等	152,324	153,612	△ 1,288
賞与引当金繰入額	8,419	8,355	64
退職給付費用	308	308	0
福利厚生費	30,919	29,866	1,053
賃金	5,300	5,183	117
報償費	1,529	1,433	96
普通旅費	6,245	8,137	△ 1,892
消耗品費等	4,679	4,750	△ 71
燃料費	273	274	△ 1
食糧費	1,205	1,646	△ 441
光熱水費	1,031	1,067	△ 36
修繕料	612	628	△ 16
通信運搬費	2,526	2,939	△ 413
手数料等	600	600	0
保険料	367	333	34
委託料	30,748	31,265	△ 517
使用料及び賃借料	8,816	9,259	△ 443
備品購入費	1,280		1,280
負担金、補助及び交付金	46,581	54,240	△ 7,659
公課費	6,666	7,045	△ 379

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
② 管理費	57,345	52,917	4,428
役員報酬	7,033	7,025	8
給料手当等	11,740	12,909	△ 1,169
賞与引当金繰入額	1,003	1,008	△ 5
退職給付費用	6,968	7,213	△ 245
福利厚生費	4,109	4,112	△ 3
賃金	1,586	1,586	0
報償費	114	228	△ 114
普通旅費	110	184	△ 74
交際費	30	30	0
消耗品費等	357	357	0
食糧費	41	81	△ 40
光熱水費	1,133	900	233
通信運搬費	1,027	903	124
手数料等	657	164	493
委託料	7,818	1,421	6,397
使用料及び賃借料	6,961	10,949	△ 3,988
備品購入費	4,555		4,555
負担金、補助及び交付金	2,016	3,760	△ 1,744
公課費	87	87	0
経常費用計	375,864	381,940	△ 6,076
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,916	△ 6,161	245
当期経常増減額	△ 5,916	△ 6,161	245
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,916	△ 6,161	245
当期一般正味財産増減額	△ 5,916	△ 6,161	245
一般正味財産期首残高	△ 76,803	△ 76,049	△ 754
一般正味財産期末残高	△ 82,719	△ 82,210	△ 509
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	977,800	977,800	0
指定正味財産期末残高	977,800	977,800	0
III 正味財産期末残高	895,081	895,590	△ 509

2 収支予算書内訳表

収支予算書内訳表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

令和5年度

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	MICE振興事業	観光振興事業	小計	レストラン運営事業	その他事業	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	10,753	747	11,500		751	751	713		12,964
② 受取会費		9,102	9,102		1,518	1,518	740		11,360
③ 賛助会費受取利息	2,052	85,265	87,317		7,793	7,793			95,110
④ 事業収益	2,052	1,128	3,180						3,180
⑤ 広告事業収益		544	544						544
⑥ 観光親善大使派遣事業収益		83,593	83,593		7,793	7,793			91,386
⑦ 広島市受託収益									
⑧ 受取負担金		2,200	2,200		450	450			2,650
⑨ 受取補助金等									
⑩ 受取広島市補助金	116,246	81,642	197,888				49,976		247,864
⑪ 雑収益		0	0						0
経常収益計	129,051	178,956	308,007	0	10,512	10,512	51,429	0	369,948
(2) 経常費用									
① 事業費									
役員報酬	129,051	178,956	308,007		10,512	10,512			318,519
給料手当等	3,553	4,538	8,091						8,091
給料手当等	49,453	99,145	148,598		3,726	3,726			152,324
賞与引当金繰入額	2,929	5,278	8,207		212	212			8,419
退職給付費用	96	212	308						308
福利厚生費	10,427	19,895	30,322		597	597			30,919
賃金	1,258	4,042	5,300						5,300
報償費	331	1,198	1,529						1,529
普通旅費	3,769	1,570	5,339		906	906			6,245
消耗品費等	2,435	1,991	4,426		253	253			4,679
燃料費	152	121	273						273
食糧費	282	173	455		750	750			1,205
光熱水費					1,031	1,031			1,031
修繕料	43	121	164		448	448			612
通信運搬費	864	1,414	2,278		248	248			2,526
手数料等	24	576	600						600
保険料	152	215	367						367
委託料	7,912	21,263	29,175		1,573	1,573			30,748
使用料及び賃借料	3,753	4,963	8,716		100	100			8,816
備品購入費	1,280	0	1,280						1,280
負担金、補助及び交付金	40,274	6,093	46,367		214	214			46,581
公課費	64	6,148	6,212		454	454			6,666

科	目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		MICE振興事業	観光振興事業	小計	レストラン・売店運営事業	その他事業	小計			
②	管理費	0	0	0				57,345		57,345
	役員報酬							7,033		7,033
	給料手当等							11,740		11,740
	賞与引当金繰入額							1,003		1,003
	退職給付費用							6,968		6,968
	福利厚生費							4,109		4,109
	賃金							1,586		1,586
	報償費							114		114
	普通旅費							110		110
	交際費							30		30
	消耗品費等							357		357
	食糧費							41		41
	光熱水費							1,133		1,133
	通信運搬費							1,027		1,027
	手数料等							657		657
	委託料							7,818		7,818
	使用料及び賃借料							6,961		6,961
	備品購入費							4,555		4,555
	負担金、補助及び交付金							2,016		2,016
	公課費							87		87
II	経常費用計	129,051	178,956	308,007	0	10,512	10,512	57,345	0	375,864
	評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	△ 5,916	0	△ 5,916
	当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	△ 5,916	0	△ 5,916
	税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 5,916	0	△ 5,916
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 5,916	0	△ 5,916
	一般正味財産期首残高	6,841	△ 12,769	△ 5,928	20,677	△ 862	19,815	△ 90,690	0	△ 76,803
	一般正味財産期末残高	6,841	△ 12,769	△ 5,928	20,677	△ 862	19,815	△ 96,606	0	△ 82,719
	指定正味財産増減の部									
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III	指定正味財産期首残高	867,309	0	867,309	0	56,712	56,712	53,779		977,800
	指定正味財産期末残高	867,309	0	867,309	0	56,712	56,712	53,779	0	977,800
	正味財産期首残高	874,150	△ 12,769	861,381	20,677	55,850	76,527	△ 42,827	0	895,081
	正味財産期末残高									

3 資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(1) 資金調達の見込みについて

事業名	借入先	借入期間	借入限度額 (千円)	目 的
コンベンション開催 準備資金貸付事業	広島市	2年以内	5,000	コンベンション開催準備資金 の貸付け

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

[参考]

収 支 予 算 書 (収支ベース)
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
① 基 本 財 産 利 息 収 入	12,964	16,124	△ 3,160	債券利回りの低下に伴う運用利息収入の減
(2) 会費収入				
① 賛 助 会 費 収 入	11,360	11,675	△ 315	賛助会員の減に伴う会費収入の減
(3) 事業収入	5,830	7,212	△ 1,382	
① 広 告 収 入	3,180	4,032	△ 852	観光宣伝物広告収入の減
② 負 担 金 収 入	2,650	3,180	△ 530	インバウンドビジネスフェア出展料等の減
(4) 補助金収入				
① 広 島 市 補 助 金 収 入	247,864	245,370	2,494	事務所移転経費等の増
(5) 受託事業収入				
① 広 島 市 受 託 事 業 収 入	91,386	94,781	△ 3,395	広島ライトアップ事業の運営その他事業費等の減
(6) 雑収入				
① 雑 収 入	544	617	△ 73	雑収益の減
(7) 貸付金返還収入				
① コンベンション開催準備資金貸付金返還収入	9,000	8,000	1,000	主催者からの貸付金返還収入の増
事業活動収入計	378,948	383,779	△ 4,831	
2 事業活動支出				
(1) MICE振興事業費支出	129,051	134,040	△ 4,989	
① 情 報 収 集 事 業 費 支 出	1,803	1,711	92	
② M I C E の 誘 致 ・ 支 援 事 業 費 支 出	48,583	58,678	△ 10,095	コンベンション誘致助成事業費等の減
③ 広 報 ・ 宣 伝 事 業 費 支 出	4,634	4,727	△ 93	
④ 調 査 ・ 企 画 事 業 費 支 出	660	660	0	
⑤ 事 務 費 支 出	2,350	947	1,403	公用車購入費の増
⑥ 人 件 費 支 出	71,021	67,317	3,704	人事異動による増
(2) 観光振興事業費支出	95,363	97,691	△ 2,328	
① 観光客の受入態勢整備事業費支出	3,511	4,201	△ 690	インバウンドビジネスフェア事業費等の減
② 観光資源整備・開発事業費支出	2,821	2,751	70	観光プロダクトの開発事業費の増
③ 観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	10,610	11,926	△ 1,316	観光宣伝物作成事業費等の減
④ 事 務 費 支 出	1,497	1,446	51	通信運搬費等の増
⑤ 人 件 費 支 出	76,924	77,367	△ 443	時間外勤務手当の減
(3) 受託事業費支出				
① 観光施設管理運営等受託事業費支出	91,386	94,781	△ 3,395	ひろしまライトアップ事業の運営その他事業費等の減
(4) 貸付金支出				
① コンベンション開催準備資金貸付金支出	5,000	8,000	△ 3,000	主催者への貸付金の減

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
(5) その他事業費支出	2,719	2,511	208	
① 賛 助 会 員 向 け 事 業 費 支 出	1,599	1,448	151	使用料賃借料等の増
② 職 員 の 研 修 事 業 費 支 出	1,120	1,063	57	普通旅費等の増
(6) 管理費支出	50,429	45,756	4,673	
① 会 議 費 支 出	386	685	△ 299	使用料賃借料等の減
② 事 務 費 支 出	14,178	19,965	△ 5,787	使用料賃借料等の減
③ 事 務 所 移 転 費 支 出	11,928	0	11,928	委託料等の増
④ 人 件 費 支 出	23,937	25,106	△ 1,169	時間外勤務手当等の減
事業活動支出計	373,948	382,779	△ 8,831	
事業活動収支差額	5,000	1,000	4,000	
II 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
(1) 借入金収入	5,000	8,000	△ 3,000	
① コンベンション開催準備資金借入金収入	5,000	8,000	△ 3,000	広島市からのコンベンション開催準備資金借入金収入の減
財務活動収入計	5,000	8,000	△ 3,000	
2 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出	9,000	8,000	1,000	
① コンベンション開催準備資金借入金返済支出	9,000	8,000	1,000	広島市へのコンベンション開催準備資金借入金返済支出の増
財務活動支出計	9,000	8,000	1,000	
財務活動収支差額	△ 4,000	0	△ 4,000	
III 予備費支出	1,000	1,000	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	9,912	3,480	6,432	
次期繰越収支差額	9,912	3,480	6,432	

収 支 予 算 書 内 訳 表
令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産運用収入					
基 本 財 産 利 息 収 入	11,500	751	713		12,964
会費収入					
賛 助 会 費 収 入	9,102	1,518	740		11,360
事業収入	5,380	450			5,830
広 告 収 入	3,180				3,180
負 担 金 収 入	2,200	450			2,650
補助金収入					
広 島 市 補 助 金 収 入	197,888		49,976		247,864
受託事業収入					
広 島 市 受 託 事 業 収 入	83,593	7,793			91,386
雑収入					
雑 収 入	544				544
貸付金返還収入					
コンベンション開催準備 資金貸付金返還収入	9,000				9,000
事業活動収入計	317,007	10,512	51,429	0	378,948

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
2 事業活動支出					
MICE振興事業費支出	129,051				129,051
情報収集事業費支出	1,803				1,803
MICEの誘致・支援事業費支出	48,583				48,583
広報・宣伝事業費支出	4,634				4,634
調査・企画事業費支出	660				660
事務費支出	2,350				2,350
人件費支出	71,021				71,021
観光振興事業費支出	95,363				95,363
観光客の受入態勢整備事業費支出	3,511				3,511
観光資源整備・開発事業費支出	2,821				2,821
観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	10,610				10,610
事務費支出	1,497				1,497
人件費支出	76,924				76,924
受託事業費支出					
観光施設管理運営等受託事業費支出	83,593	7,793			91,386
貸付金支出					
コンベンション開催準備資金貸付金支出	5,000				5,000
その他事業費支出		2,719			2,719
賛助会員向け事業費支出		1,599			1,599
職員の研修事業費支出		1,120			1,120
管理費支出			50,429		50,429
会議費支出			386		386
事務費支出			14,178		14,178
事務所移転費支出			11,928		11,928
人件費支出			23,937		23,937
事業活動支出計	313,007	10,512	50,429	0	373,948
事業活動収支差額	4,000	0	1,000	0	5,000

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
II 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
借入金収入	5,000				5,000
コンベンション開催準備 資金借入金収入	5,000				5,000
財務活動収入計	5,000	0	0	0	5,000
2 財務活動支出					
借入金返済支出	9,000				9,000
財務活動支出計	9,000	0	0	0	9,000
財務活動収支差額	△ 4,000	0	0	0	△ 4,000
III 予備費支出			1,000		1,000
当期収支差額	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	1,675	20,001	△ 11,764	0	9,912
次期繰越収支差額	1,675	20,001	△ 11,764	0	9,912

